

第5回ワークショップ(H18.10.28)振り返りシート集計

	Q1今日のワークショップで気づいたこと発見したことはありますか？	Q2今回のワークショップで発言できなかったこと、言い残したことがありましたらご記入ください。	皆様からのご意見に対し、現状でお答えできるものについて記載させていただきました。
1	ワークショップのテーマ以外での話も聞けてよかった	今回話ができましたが、市民憲章が出来上がった時、条例との検証が必要です	住民自治を実現するためには、市民の皆様と行政との対話のみならず、市民の皆様の間においての対話が重要と考えます。WSは条例へ位置付けする項目の素材探しを一番の目的としていますが、このWSをきっかけにまちづくりを考えるネットワークのような議論の場が出来ていくことも期待しています。また、条例制定の際には、既存の条例との整合性を図ります。
2	財政的な裏づけを考慮しない計画作りは無意味と考える。実現の可能性を考慮した計画の順位付けをしていくべきと考える 市の総合振興計画との整合性をどうするのかという観点の検討も必要と考える	なし	第四次北本市総合振興計画の抜粋をWSの資料として用意いたします。計画の順位付けなど、どのような仕組みが出来れば実現できるのかをWSで考え、それが住民自治条例に位置付ける素材になるものと考えます。
3	具体的に意見が出ましたが、市民の声として役所が市政に生かして欲しかった。それが市政の活力につながると思います		市民の皆様の声を市政に生かすためにどのような制度や仕組みがあればよいのかを考え、それが住民自治条例に位置付ける素材になるものと考えます。
4	住民の行政への参画がまだまだ少ない。与えられたものの範囲だけ行政・自治会組織などの活動状況が判っていない人が多い 個々のテーマ、課題には興味がある。全体像が判れば活動が一本になるのではないかと		参画をする人を増やすための仕組みを考えていただきたいと思えます。活動状況がわからない人のためにどのような仕組みが在ったらよいのでしょうか。全体像はまさに『よりよいまちづくりを進めるための仕組み』を考えるとことです。次回以降皆さんに議論していただくのはまさにこれらの項目です。
5	次回より若年層の参加を希望します	合併問題を含めた今後の行政について	広報活動は行っています。なぜ若者の参加が少ないのかを考え、参加を募る方策を議論していただくことも必要かもしれません。今後の北本市をどうやっていくのかを条例化するものですから、合併問題であればどのように議論、集約すれば解決できるのかその仕組みはどうあったらよいのかを検討していただきたいと思えます。個々の問題についての議論はこの場ではいたしません。
6	立場、環境によりいろんな意見がありましたが、基本的には皆さんの考えは同じである！その為には今後何をしていけば、いかなければいけないのでしょうか？とした再考したいと思いました		まさにその議論を次回からお願いしたいと思います。
7	グループ作業はもうやめて、もっと条例作成の具体的なものへ入ってもらいたい 若い人が少ないので再募集したらどうか？ 参加者がだんだん減ってきた	人口増加・市町村合併・市庁舎新築の問題	住民自治条例の素案の作成は住民自治条例懇話会で行います。この場では個々の問題を議論するのではなく、問題解決のためにどのような制度や仕組みがあればよいのかを考えていく場です。また、住民自治条例懇話会では、市民ワークショップで得られた住民自治条例に規定する素材をもとに、北本市のデータの検証等を行い、その素材の現状、課題、条例化の可否について議論し、住民自治条例の素案を作成していきたいと考えます。
8	参加者の年齢層が高い「住民自治条例」を策定するのであれば、幅広い年齢層から参加者を募ったほうが良いと思いました	ワークショップのメンバーの発表、発言を踏まえた市の考えを述べる機会がもっとあれば良いと思いました	今後の条例作成の過程の中で幅広い年齢層の意見を聞くための方策を皆さんに議論していただきたいと思えます。今回のWSでは個々の施策に対する皆様の声に対して市の考えを述べることはいたしません。また、お答えできる立場にもありません。そのような皆様のご意見に対してお答えする、または話し合う仕組みをどのように整えて行けばよいのかを議論していただきたいと思えます。
9	言っていることの裏づけのない総論が多すぎる。テーマをもっと絞って議論すべきと思う WSのやり方を見直す必要がある	企業誘致について	今回は具体的なテーマを解決するためにどのような制度や仕組みがあればよいのかを考えていきたいと思えます。個々の施策について、市民の皆様と行政が議論する場ではないと考えます。

第5回ワークショップ(H18.10.28)振り返りシート集計

	Q1今日のワークショップで気づいたこと発見したことはありますか？	Q2今回のワークショップで発言できなかったこと、言い残したことがありましたらご記入ください。	皆様からのご意見に対し、現状でお答えできるものについて記載させていただきました。
10	1 女性の参加が少ない 2 若年層が少ない(大部分60才以上か) 3 「事前通知が良かった」結果、スムーズに進行するとともにグループ討議の出来が良かった	グループ提案として！ 1 行政や社会に対する批評意見よりも、前向きな検討がほしかった 2 行政情報の公開不足か、行政の現状認識を深めれば、さらに深い論議ができるのではないか	
11	1 グループ制だと皆様熱心に発表された 2 主催者の説明がもっと詳しくほしい 3 大まかなので多少矛盾もある 4 市の考えとワークショップの考えの違い(ギャップ)を整理してそれを次回に検討する		
12	各人の出したシートについて話し合いをし、シートの言っている意味を把握しようとした。それにより本当に言いたい事が判ってくる話し合いをしないでグルーピングするのは、あまり本質にせまることが出来ないと思う	住民自治条例を行政がまとめようとする不思議さ	条例素案につきましては住民自治条例懇話会で検討していただきます。自主的に「自治条例や住民自治を考えるグループ」を立ち上げて研究していただくことも期待しています。
13	住民自治の基本は近隣の人々との交流。都市化とともに失われている傾向に早期に歯止めをしないといけない 緑が多いということは雑木林の保存だけではない。花いっぱい運動、四季折々の花を楽しめるまちがうるおいをもたらす。駅前(東口)芝桜用地街路樹の根元など、活用できる場所はたくさんある	あと3回。このワークショップの結果が今後どのように自治条例に活かされていくのか。是非、満足してワークショップが終わるようにしてほしい	『近隣の人達との交流の必要性』、『緑という市の宝を残すための仕組みづくり』『市民活動・ボランティアの推進』など、まさに条例に位置付けすべき内容ではないでしょうか。このWSでよいまちづくりを進めるための仕組みを考えている訳ですが、この取り組みをきっかけにして住民自治都市北本が実現できるようWSの終了とともに考えるのをやめてしまうのではなく、皆さんに継続して活動していただきたいと考えます。
14	回数ごとに人数(参加する人が)少なくなり又同じ顔ぶれのため意見等が偏りがちになる 今後テーマを絞りこんで1つのテーマについて班ごとで時間をかけて検討する時間が欲しい	理想の都市の姿は参加した人たちの90%近く同じ思いだと思いました あまりいそいで年内でまとめではなく、市民の最大数の人たちの理解を得られる様にし、子ども、青年、女子、男子、婦人、障害者、健常者、老人等からわかるように説明の場を設けることを希望します	何事も継続していく中で人数が限定されてくるのは仕方のないことと考えます。また、久喜市でも当初90人で出発したWSが最終的には10数名になったとこのことです。今後、条例素案が出来た時にシンポジウムの開催や説明会の開催、パブリックコメントなど多くの方の意見が反映される方策を採りたいと考えています。
15	グループワークは少人数で大変話がまとまりやすく、意見交換がしやすかったです。意見の集約もやりやすかった為、時間オーバーすることなく作業が進行したと思いました。たくさん笑えたので今回は楽しく参加できました	4 グループの発表の中でどこのグループも共通して考えた事の中に、「高齢者、子どもが安心して暮らせる街」とありました。その中に医療機関について述べる方がいみせんでしたが、しかし、医療機関は子どもが産まれてから死に至るまでかわる場所です。このことについて述べたかったと思いました。	
16	核心部分に入ると難しいと感じます。それぞれは生活環境によって、様々な意見が生まれ、よりよいものが出来ればと思います(参加者が少ないと思います)		
17	ワークショップによる市民の発想と行動原理を出発点にして、主体的で自立的にまちづくりの活動については個性的なまちづくりを行うという意見が多く出された オンリーワンのまちづくりを進めていくことが求められています 北本市政はより透明で公正なものを求められています 徹底した情報公開の推進をお願いします	市民と行政が課題を共有し「協働」によるまちづくりの推進について具体的に話し合う責任分担について討議しましょう	条例に位置付けすべき項目ではないでしょうか。協働を推進するにはどうしたらよいか、別の会議で協働推進計画を策定していますが、自治条例の中に協働をどのように位置づけて行くのを考えていきたいと思っています。